

家政学部 食物学科 食物学専攻

【中学校一種免許状（家庭） 高等学校一種免許状（家庭）】

① 教員養成の目標

家庭科の食物分野は、子供から高齢者に至るまで健康に生きていくために必須の栄養素を、食品あるいは調理・加工品として摂取するために必要な知識や技術を教育することを教員養成の目的としている。このため、食を社会生活の基軸とし、豊かで安全な食生活を営む力を育むことにより食料の生産から消費に至るまでの一連の食生活にかかわる基本的な知識を習得し、創造的な能力と実践的な態度を育てる。食物学科では、中学校一種免許状（家庭）、高等学校一種免許状（家庭）取得者に対して、このような発展的視点で教育ができる人材養成を目指している。

② 当該目標を達成するための計画

食物学科では、学生全員に対して入学時に教職に関するガイダンスを行い、教職課程履修希望者にはアドバイザーが4年間の履修計画の提出を求めるとともに、心構え等についても面接指導をする。学科専門科目では、とくに、実験、実習科目の充実に努め、食に関わる卒業論文研究を行い、専門科目の知識と探究心を深化させる。また、各教科担当者においては、履修状況について頻回に評価し、知識や技能の定着を図る。